

「未来の学び」創造シート

緑野小学校 3年3組
授業者 坂本 薫（緑野小学校）
川西 雄輝（緑野小学校）

1 題材名
三角形のなかまを調べよう「三角形と角」

2 教科・領域の「ねらい」
三角形についての観察や構成などの活動を通して、三角形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や正三角形、角について理解する。

3 キャリア教育の視点からの「ねらい」

基礎的・汎用的能力	ICT・学校図書館 活用型授業	協議型授業	外部人材 活用型授業
人間関係形成 社会形成能力	○	○	
自己理解 自己管理能力			
課題対応能力	○	◎	
キャリアプランニング能力			

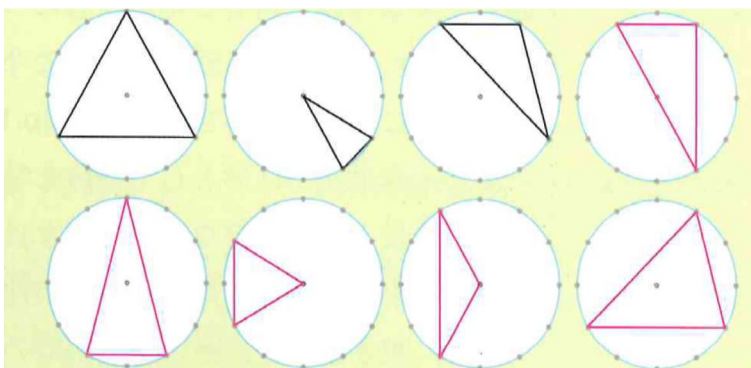
4 授業の概要

本時の学習は、円周上にある点や円の中心を結んで三角形をかき、辺の長さに着目して分類することを通して、既習の円の学習を振り返るとともに「二等辺三角形」や「正三角形」の意味について理解することをねらいとします。

はじめに円周上に12個の・を等間隔に打った図を提示し、円周上の「・」や中心の「・」を結んで三角形を作ります。円を活用するのは、円の半径の長さが一緒であることや、置かれた位置や向きに関係なく同一の図形として捉えられるようにという意図があります。

タブレットPCで学習者用デジタル教科書を使い、一人ひとりが様々な三角形を作ります。その際、タブレットPCを活用することで容易に線を書いたり消したりすることができ、様々な三角形を自由に作ることができます。

さらに、作成した三角形を辺の長さに着目して分類整理します。ここではタブレットPC



児童が作成する図形の例

Cを用いてグループで話し合います。グループで分類した三角形を見せ合いながら、互いの考えを発表し合います。タブレットPCを活用することで、図形を自由に動かしたり、同じ長さの線を色分けしたりすることは容易になり、友達の図形と見比べながら試行錯誤して分類方法を考えることができます。

5 本時の学習活動

学習活動

【ICT の活用】
問題を把握する。

- 身の回りから三角形の形をしたものを見つける。
- 円周上の点や円の中心を直線で結んで、いろいろな形の三角形を作る。
- できた三角形を観察し、問題をとらえる。

↓

【ICT の活用】
自力解決をする。

- 三角形を分類し、どの観点で分類したのかははっきりさせる。
- 何を観点にして分類したらよいか話し合う。

長さの等しい辺の数に目をつけて、三角形を仲間わけしよう。

【ICT の活用】【協議】
集団解決をする。

- 班で、自分の分類を発表し合う。
- クラスで、どのように分類したか発表しあう。

↓

学習のまとめをする。

- 二等辺三角形と正三角形の定義を知る。

指導者用デジタル教科書で、身の回りにある三角形をテレビに示し、三角形にはいろいろな形があることを確認する。

学習者用デジタル教科書を使用し、円を活用して三角形を作図する。その際、色分けしたり向きを変えたりできることを確認し、わかりやすく工夫する。

作成した三角形をタブレットPCの画面上で自由に動かしながら分類する。

班での話し合いでは、班の友達とタブレットPCを見せ合いながら、説明するようにする。

クラス全体での話し合いでは、児童のタブレットPC画面をテレビ画面に映して発表する。

指導者用デジタル教科書で、三角形の定義を示す。

定義を確認した後で、もう一度タブレットで、自分の三角形を見直し、二等辺三角形と正三角形とその他の三角形の3つに分類できているかを確認する。
(評価)

6 小中連携キャリア教育の視点から

ICTを話し合いのツールとして活用して課題を「自力」→「グループ」→「集団」で解決する学びです。これにより「課題対応能力」を育成して、今後の学びを深めていきます。